

9 旧岡谷上水道集水溝



岡谷の製糸業が最盛期を迎え、飲料水や工業用水の需要が増え、また衛生面からも上下水道建設の要望が高まりました。そこで昭和2年、塩嶺山麓の滝ノ沢に集水溝、導入管、受水槽、分水槽が造られ、翌3年に給水が開始され、昭和63年まで利用されていました。ものづくりのまち岡谷の人々の生活を支えた集水溝跡として保存されています。国登録有形文化財。

外観のみ見学可